



種
員
記

博
元
廣
園
宮

三
十

1178
74

志
羅
怒
火
物
語



三
十
七
編
上

1178
73

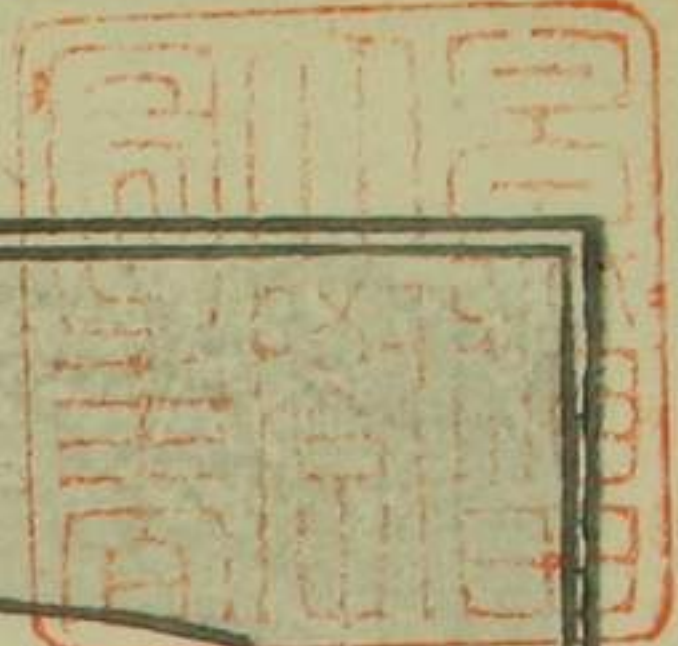


志羅 怒火 物語



三十七編上

13
1178
73



1178
73

不知火物語第三十七編上

種員作
種彦技

廣草板

肥前屋上記を閲する小昔佐喜郡小大樟樹有朝日の影小村島郡の
 浦川山を蔽ひ暮日の影小養父郡の草横山を蔽いと日本武尊巡幸の
 時茂く栄むるさぬとてんぬいとて栄の国といふこのさひより郡名とす
 文字の後小改らると有其樟の今山とて夫と土基小化石の洞根も葉も亦
 さるり造るる戲作老樹の温る子婦小逼る梢小巽時の蕪昔が鐸振る
 巫女の光儀を且此編の口画小出せの産色ぬ前の襖柳評ささりと不讀でも
 大方の解る安達原一葉の石の村も化石もいれ小産た華ぐらひ石の縁ある
 其盤の胞衣桶底を拂つて案トも齶もと横捷も姪むとの小當年の国の
 ある歳ありたひぎれぬとていふそれと然も小秋迦の誕生日産湯の甘茶小華
 を潤腹帯メく稿を起すハ物の本このま

文三新版同年四月稿成

柳亭種彦





Vertical Japanese text block on the left page, containing approximately 35 lines of characters in a traditional style.



Vertical Japanese text block on the right page, containing approximately 35 lines of characters, including some larger characters and a circular seal at the bottom.

Vertical text on the right margin of the right page.

Vertical text on the right margin of the right page.







つゞき
 たてふらと
 むふのあつて
 こゝのまぢぢぢぢぢ
 きらりやあ
 なみぢぢぢぢぢ
 めるぢぢぢぢぢ
 ぬんとぢぢぢぢぢ
 のぢぢぢぢぢぢ
 又ぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢ
 めのこぢぢぢぢぢ
 えぢぢぢぢぢぢぢ
 まぢぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢ

種
 大
 脩
 辞

志
 女
 江
 禪

古今
 一
 恵
 齊
 考
 卷
 五

兩
 面
 織
 花
 田
 物
 語

編
 者
 同

作

假
 名
 彦
 火
 傳

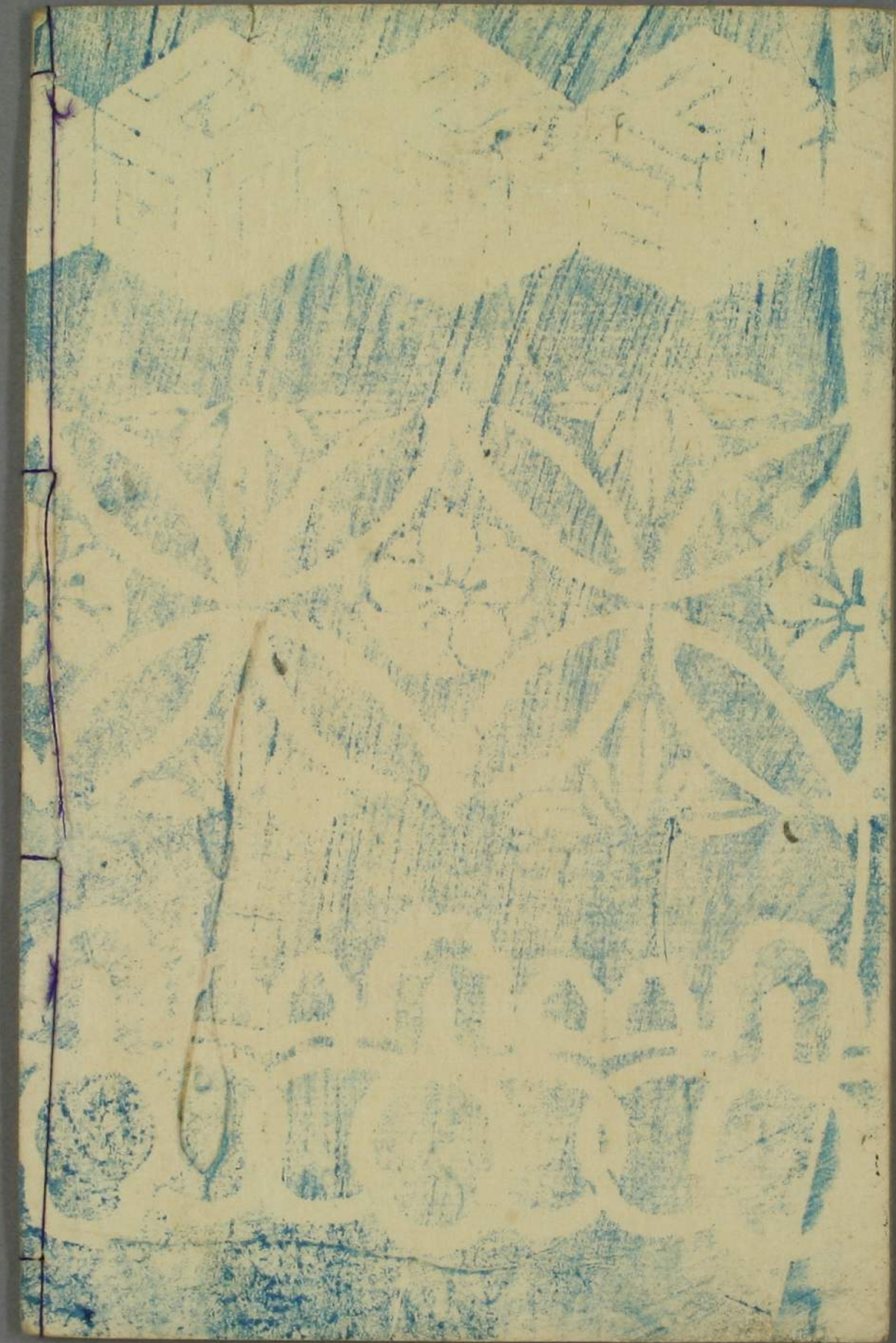
編
 者
 假
 名
 理
 義
 文
 館
 編
 者
 假
 名
 理
 義
 文
 館

古
 今
 似
 顔
 大
 入
 王

故
 事
 大
 錦
 白
 二
 香
 樓

太
 平
 記
 英
 勇
 傳

中
 錦
 山
 々
 序
 有
 大
 註
 百
 番
 續
 由
 齋
 芳
 英
 圖



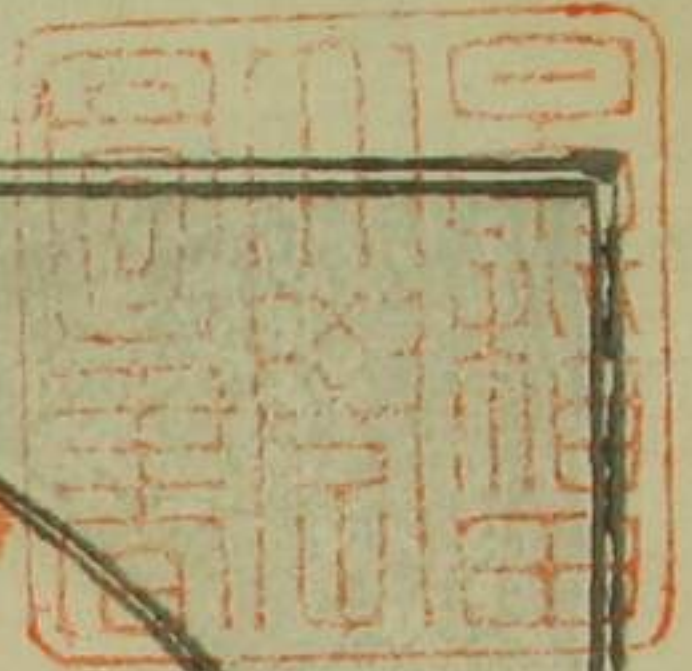


種員記

種元度圖

三

1178
74



へ13
1178
74

真作
日本

真作
日本

真作
日本

菊名堂
◇



巻のぬじ二十七

石ころの
清き場
ひらひらあざ
うのあざんご

ひらひらあざ
うのあざんご

あまの
あまの
あまの

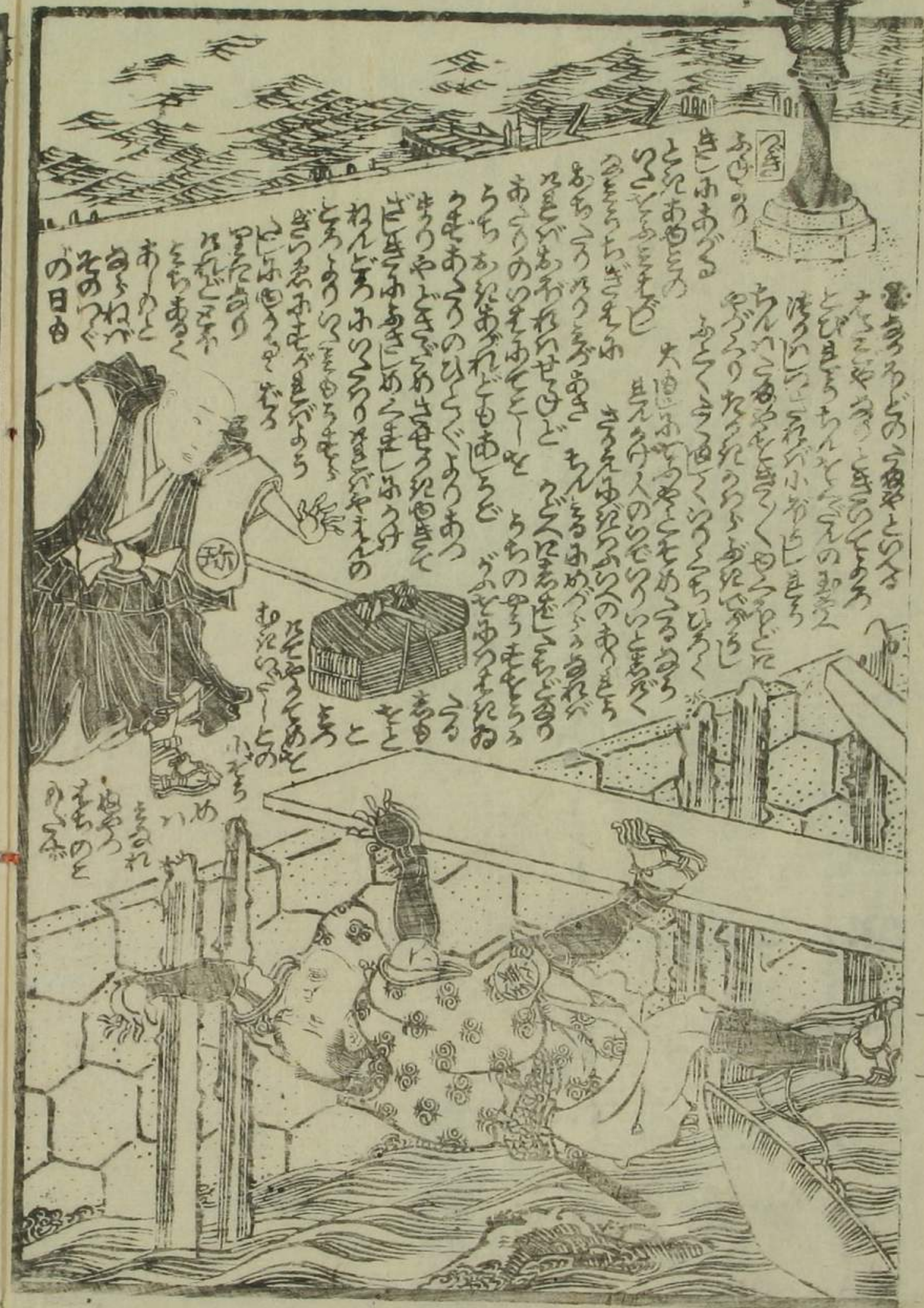
あまの
あまの
あまの



あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの







三十三 三十三



三十三 三十三





三十三人



福行問

三十三人

英浦密封状
 青柳へあるもの
 度も次編小説
 文來書
 種彦作
 芳樂画
 三編讀切
 假二竹
 其水
 來文
 作
 合
 人
 樂
 魚
 文
 來
 作
 合
 人
 樂
 魚
 文
 來
 作
 合



浪種黃金鮎

名譽の義殿
 楠木金輔
 若譽の幸六
 若三於市

朝霞樓芳樂画
 三編讀切
 假二竹
 其水
 來文
 作
 合
 人
 樂
 魚
 文
 來
 作
 合

北草紙回屋

江戶深川佐倉町
 廣園隆幸助持

